

## WS/WO クラス地図配布ミスについて、経緯の説明とお詫び

2012年6月17日(日)に行われました関西学連ロングセレには多くの方にご参加いただき、御礼申し上げます。さて、本選考会の WS クラスおよび WO クラスにおきまして、誤った縮尺の地図が配布される、という運営上の大きな不手際がありました。この件についてお詫びするとともに地図配布ミスに至った経緯についてお知らせいたします。

### 1、事案

関西学連ロングセレの選考クラス(MS,WS クラス)におきましては、インカレロング本番を見据え、1:15000 の縮尺の地図を用いて毎年選考を行っております。これと同一コースの一般参加者向けクラスのうち、MO クラスは MS クラスと同一の 1:15000 の縮尺の地図を用いたコースの提供を行っておりますが、WO クラスにつきましてはより読図しやすい地図を求められる方が多いことから 1:10000 の地図を用いることとし、要項、プログラム等で周知してまいりました。

しかし本選考会のスタート地区における地図配布におきまして、誤って縮尺 1:10000 の地図を WS クラス(10:01 より順次スタート)に配布し、WS クラスの全員が縮尺 1:10000 の地図で出走する事態となりました。その後 WO クラス(11:40 より順次スタート)のうち前半にスタートされた方には縮尺 1:10000 の地図が、WO クラスのうち後半にスタートされた方には縮尺 1:15000 の地図が配布されていたことが発覚いたしました。配布ミスは WO クラスにおいて 1:15000 の縮尺の地図を受け取って出走した方から地図の縮尺が異なる旨スタート役員に問い合わせがあったため発覚いたしました。

参加者数の関係上 WO クラス用に用意した縮尺 1:10000 の地図枚数が縮尺 1:15000 の地図枚数より多かったため、WS クラスは全出走者が縮尺 1:10000 の同一地図を使用し競技を行いました。WO クラスは 1:10000 の地図を受け取った出走者と 1:15000 の地図を受け取った出走者が混在する形となりました。

### 2、対応

配布ミス発覚時点で WO クラス未出走者の方がいらっしゃいましたがスタート地区には縮尺 1:15000 の地図しか残っていなかったため、縮尺 1:15000 の地図を配布しスタート業務を行いました。

選考クラスの WS クラスにおきましては本競技の結果がインカレロング選手権部門の代表選出に影響するため提訴を受け付ける形といたしました。この際、実行委員会側といたしまして、事前周知した縮尺とは異なるものの配布された地図の縮尺は全員同一であるため競技としては公平であるとする見解を示しました。結果的に提訴がなかったため WS クラスは競技成立とし、当初予定通り WS クラス一位の選手をインカレロング女子選手権ク

ラス代表選手といたしました。一方縮尺が混在した WO クラスにつきましては公平性を欠くとの判断から競技不成立といたしました。

### 3、地図配布ミスに至った経緯

本選考会で用いた地図は「MS/MO」「WS/WO(1:15000)」「WS/WO(1:10000)」「MF」「WF」の 5 種類であり、あらかじめ地図を 5 種類に分けられるよう段ボール製の地図箱を用意していました。しかし、地図箱に入れた状態で車両による輸送、あるいは歩いて山道を搬送した場合地図に折れが入ること、あるいは地図が滑り落ちることが懸念されたため、スタート地区まではプラスチック製のトレーに入れて運ぶことにいたしました。このトレーが三つしか確保できなかったため「MS/MO」のトレー、「WS/WO(1:15000)」と「WS/WO(1:10000)」のトレー、「MF」と「WF」のトレーに分け搬送し、スタート地区で再度地図箱に配分する予定でした。しかし、結果的にトレーのまま地図を配布する形でスタート業務を行ったため、トレーで上に載っていた 1:10000 の縮尺の地図から参加者に渡されることとなりました。(なお、「MF」クラスと「WF」クラスはスタート地区で振り分けが行われたため誤った地図が配布されることはありませんでした。)

直接の原因といたしましては地図の再配分という作業を省略したことにより二種類の地図が混在した状態での地図配布という状況を生み出してしまったこと、またスタート役員が二種類の縮尺が存在することを失念していたことがあげられます。また、二次的な要因といたしまして準備時間不足、最終確認手段が手配されていなかったことの二点が挙げられます。選考会当日、他地区の準備の遅れの影響でスタート地区役員に競技用地図が渡されたのは電気柵部分(スタート地区から徒歩 10 分ほど)で 9:30 過ぎ頃であり、スタートまで 30 分を切った時間でした。すでにスタート地区に選手がいる状態で地図の再配分が満足に行える状況ではなかったためトレーのまま業務を行うという判断に至りました。また、地図配布時、コントロール位置説明(デスクリプション)のクラス欄を参加者とともに確認し地図に誤りがないかチェックする手順になっていましたが今回用いた二種類の縮尺の地図はいずれも表記が「WS/WO」であり、縮尺の違いを判断できる表記になっていませんでした。

### 4、再発防止策

#### ①業務打ち合わせの徹底

本選考会の事前準備においてパート間あるいは運営者全体で綿密な打ち合わせが行われませんでした。このためトレーのほかに地図箱をスタート地区に配布した意図が伝わらなかった、実際業務に当たっていた役員が地図の縮尺の混在を失念していた、といった事態を招いたものと考えております。

#### ②当日準備時間の十分な確保

長距離のスタート・ゴール誘導に適した準備時間が配分されていなかったこと等から他業務の遅延を受け、結果的にスタート役員への地図受け渡し時間が当初予定の 9:20 から 10 分から 15 分ほど遅れたためにスタートで十分な地図整理が行われられないという事態につながりました。当初からスタートの一時間前に地図配布が完了する程度の十分な余

裕時分の確保が必要だったと考えております。

③地図確認手順、あるいはコース名設定の見直し

本件は出走直前の、参加者による地図の最終確認段階でミスを防げる事案でした。これが出来なかったのは先述のとおり、縮尺によらず同一のコース名を振っていたことが原因です。このため「コース名と同時に縮尺を確認する」、「コース名に縮尺を付記する」、「縮尺によってコース名を分ける」といった防止策が必要であったと考えております。

今回の運営の不幸により、事前になれない縮尺に対応すべく周到な対策を行ったと思われる WS クラス出走者の皆様、非常に解読困難な縮尺の地図で競技を強いる形になり結果的に競技不成立となった WO クラス出走者の皆様に改めて深くお詫び申し上げるとともにこのような事態を二度と起こさぬよう運営者一同肝に銘じてまいります。

関西学連ロングセレ 2012 実行委員会

実行委員長 伴毅

運営責任者 山下智弘

競技責任者 渡辺拓也

問い合わせ先 shizuoka\_chakkiri ◆ yahoo.co.jp (山下智弘)

(◆を@になおして送信してください)